

# 九条の会とは

「九条の会」は、2004年6月10日、日本国憲法第9条「改正」の動きに警鐘を鳴らし、そのくわだてを阻むための一人ひとりの努力を呼びかけたアピールを発表して発足しました。

全国津々浦々から共感と支持が寄せられ、アピールに賛同する草の根の「会」は7500を超え(2010年4月)、高校社会科の教科書でも取り上げられたり、海外メディアからも関心が寄せられています。

激しい改憲の動きが続くなか、「九条の会」は次のことを訴えています。

- 一人ひとりの創意や地域の持ち味を大切にしながら、改憲を許さない過半数の世論を形成しましょう。
- 継続的・計画的に学習し、条文改悪も解釈による憲法破壊も許さない力を地域や職場につくりましょう。
- 思い切り対話の輪を広げ、全国の草の根に交流・協力のためのネットワークをはりめぐらしましょう。

## 〈世話人〉

### 愛敬 浩二

名古屋大教授、憲法学



九条を守ること自体に意味があるわけではない。九条を守ることによって子どもたちにどんな未来を託すことができるのか。今、問われているのはこの問題です。

### 浅倉 むつ子

早稲田大教授、労働法



差別や憎悪の嵐が世界中を脅かしています。こんな嵐の夜にこそ灯台が必要です。行くべき道を照らす灯台として、日本国憲法をぜひ世界に広げましょう。

### 池内 了

名古屋大名誉教授、宇宙物理学



日本の軍国主義化がどんどん加速されている。阻止できるのは憲法九条しかない。憲法を改悪させないため、あらゆる力を尽くさねばならない。今、正念場である。

### 池田 香代子

ドイツ文学翻訳家



いま憲法を変える大義などないのです。国民の多数がそう考えていることが、日ごとはっきりと前景にせり出してきています。ここ一番、力を尽くしましょう。

### 伊藤 千尋

ジャーナリスト



これだけ多くの市民が政治の変革に立ち上がったのは日本史上初めてです。15%の市民が動けば社会を変えることができます。私たちが歴史を変えましょう。

### 伊藤 真

弁護士・伊藤塾塾長



市民の力で世界は変わり日本も変えられます。戦争する国づくりを拒否し、誰もが個人として尊重される社会をめざすため、連帯の力を確信し行動しましょう。

### 内橋 克人

経済評論家



『このまま行くとこうなるよ』。呼び止めたい。「白骨街道」を知らず「ひもじさ」を知らず、「戦争を知らない軍国少年」らの増殖。歯止めを。ひたすらに。

### 清水 雅彦

日本体育大教授、憲法学



自信を持ちましょう。私たちが九条の会の活動をしてきたからこそ、改憲を拒んできました。続けていきましょう。九条理念の実現に向けた人類の一大事業を。

### 高遠 菜穂子

人道支援者



私たちは「憲法9条」の土壌で育った平和細胞でできている。だから、「平和の道具」になれるはず。さあ、みんなまで拡散。平和細胞をイラクにも世界にも!

### 高良 鉄美

琉球大教授、憲法学



沖縄の復帰運動の底流には「憲法9条を持つ日本への復帰」という理念がありました。9条の世界の実現に向けて努力することも人類普遍の原理だと思えます。

### 田中 優子

法政大総長、江戸文化研究者



少子高齢化、人手不足、巨額の負債など日本は多くの課題を抱えています。九条を守ることは日本を守ることです。高額兵器でこの国は守れません。

### 山内 敏弘

一橋大名誉教授、憲法研究者



9条は過去の戦争の反省を踏まえた不戦の誓いであり、また国際社会の恒久平和確立の指針でもあります。この9条を皆さんと共に護り活かしていきましょう。

